

歴史(江戸時代⑬・滅亡編)

幕府が朝廷の許可なく通商条約を結んだことから、幕府に対する①_____運動がさかんになった。しかし、大老の②_____は、反対派だった長州藩士の③_____たちを処刑した(④_____)ため、1860年、江戸城の門外で暗殺された(⑤_____)。⑥_____運動の中心だった長州藩は、下関海峡を通る外国船を砲撃し、その報復にあい、薩摩藩も生麦事件の報復にあつた(⑦_____戦争)。その後、長州藩(⑧_____や⑨_____)と薩摩藩(⑩_____や⑪_____)が⑫_____の仲立てもあつて、1866年に⑬_____を結び、倒幕をめざすようになった。このころ、全国で「世直し」を期待して農民による一揆が起こったり、「⑭_____」といつて人々が熱狂する騒ぎが流行した。そして、1867年、15代将軍⑮_____が、政権を朝廷に返した(⑯_____)ため、その後、倒幕派が朝廷を動かして、⑰_____を出し、天皇中心の政治に戻す宣言をさせた。これに反対する旧幕府軍は、1868年に京都の⑱_____で新政府側に戦いを挑むが敗れ、翌年、函館の五稜郭で降伏した(⑲_____戦争)。

